



秋田ふるさと学講座，続々とスタート!!

…美の国アクティブカレッジ…

6月9日の大館キャンパス「羽州街道沿いの歴史探訪～大館編～」と東成瀬キャンパス「ふるさとの歴史・再発見」を皮切りに，秋田ふるさと学講座が各所で開講となりました。6月16日には県生涯学習センター会場で「道の文化史」が，6月23日には潟上キャンパス「秋田にいきづく神秘の湖水」が開講しています。



■大館キャンパス



E1 講師
清野宏隆 氏

E2 講師
田口昌樹 氏



6月9日(土)，秋田ふるさと学講座大館キャンパス「E講座：羽州街道沿いの歴史探訪～大館編～」が，大館市立中央公民館を会場に開講し，約50名の方が受講しました。

E1講座は，藩政期に描かれた城下絵図をもとに，当時の人々の生活と文化についてのお話で，受講者からは，「大館城下の詳しい資料と分かりよい講義に引き込まれました。」等の感想がありました。

E2講座は，江戸後期の紀行家・菅江真澄の足跡を，県北を中心に矢立峠までの紀行地をたどる内容で，受講者からは「大館に住んで知らないことばかりでした。今回いただいた資料を読み返しもっと勉強したいと思います。」といった感想が寄せられました。

どちらも受講者から好評をいただいた講座となりました。

■東成瀬キャンパス

東成瀬村では，地域交流センター“ゆるるん”を会場に，「G講座：ふるさとの歴史・再発見」のキャンパステーマで開講しました。

特にG2講座では，現在の東成瀬村の地名が江戸時代の資料にはっきりと記されていることもあって，受講者の皆さんは強い興味をもって聞いていました。

受講者からは，「資料やお話を通して江戸期の東成瀬の姿が見えたように感じられた。」「秋田藩の街道政策についての理解が深まった。」などの感想が寄せられました。

午前の講座が終わった直後に，「申し込んでいない他の講座も受講したい。」とさっそく講座の追加を申し込まれた方もいて，今後の盛り上がりを楽しみな講座のスタートとなりました。



G1 講師
渡辺英夫 氏



G2 講師
松山修 氏

■道の文化史 ～羽州街道をめぐる～



6月16日，秋田県生涯学習センター会場で「C講座：道の文化史～羽州街道をめぐる～」が開講しました。秋田藩の大動脈であった羽州街道の魅力を探り，ふるさと秋田の歴史と文化を学ぶ内容です。G講座でも講師を務められた秋田大学・教授・渡辺英夫氏が「羽州街道の魅力」と題してC1講座を担当されました。

受講者からは，「関所や宿場の任務，その実態を含めて詳しく解説され理解できた」「一里塚について認識をあらためることができた」など内容に直結するものから，「次も楽しみです」と，次回への期待が込められた感想も寄せられました。

■ 潟上キャンパス

6月23日には秋田ふるさと学講座潟上キャンパス「1講座：秋田にいきづく神秘の湖水」が、潟上市昭和公民館を会場に開講しました。八郎湖・十和田湖・田沢湖の伝説・伝承・環境を学習する中で、秋田の魅力を探る講座内容です。

「11講座：三湖伝説の歴史的価値 ～伝説から今分かること～」では、元県立博物館副館長の嶋田忠一氏が、八郎太郎と辰子姫にまつわる伝説を史料から検証し、客観的な解釈を講義しました。「12講座：湖と環境 ～生きる・暮らす生かす～」では、秋田県立大学教授の谷口吉光氏が、科学的な資料から八郎潟の水質や住民の意識を、分析して未来につながる環境問題について問題提起的な講義が展開されました。

受講者からは、「伝承に含まれる真実へのアプローチ方法について、大変ためになった」「事物を一面からだけ見ることの危険性を教えられました」等の感想が寄せられ、既存の情報・概念への信憑性について考える機会となった様子がかがわれました。



11 講師
嶋田忠一氏



12 講師
谷口吉光氏

絆を求めて 東北の詩人たち

…シニアコーディネーター企画講座…

美の国アクティブカレッジ・シニアコーディネーター企画講座「絆を求めて 東北の詩人たち」の第1回が6月14日に秋田県生涯学習センターで開催されました。

第1回のテーマは「石川啄木 望郷の詩集『一握の砂』」で、当センターの北条常久・美の国アクティブカレッジ・シニアコーディネーター（以下SC）が講師を務めました。

北条SCは岩手県渋民村から追われるようにして北海道に向かった啄木の心情を詩集から拾い上げ「才能を自認するあまり周囲との衝突もあった。また夏目漱石らの活躍をみて、自分も小説くらいは書けるといことで上京したものの、小説が当たることはなかった。」と話し、集まった100名を超える受講者は真剣にメモを取ったり、話に聞き入っていました。

さらに「今年は石川啄木没後100年だが、単に亡くなってから100年経ったということではなく、『大逆事件』という歴史的観点から時代を考える必要がある。」と話を締めくくりました。



今、話題の江戸絵画

…連携講座・明快!Artゼミ…

講師
河野元昭氏



美の国アクティブカレッジ連携講座「明快!Artゼミ」の第1回が6月22日に秋田県生涯学習センターで開催されました。

「今、話題の江戸絵画」をテーマに、全3回でお届けする講座の皮切りとして、「尾形光琳『紅白梅図屏風』の謎」と題して秋田県立近代美術館の河野元昭館長が講師となり、60名が参加しました。

河野館長は、自身が出演されたテレビ番組を紹介しながら、屏風の金地が金箔であること、中央の「水流」と呼ばれる部分が銀箔に硫黄を使って黒色を作り上げたことを説明されました。

本阿弥光悦の「光」の一字を取り入れて「尾形光琳」と名乗ったというエピソードや、美術評論家は科学的根拠に弱い等、ユーモアを交えながら、専門的な内容を楽しくお話しされました。

